

日々の小さな挑戦を大切に

岩根 えり子

(株式会社デジタル・ウント・メア 代表取締役社長)



■企業は地域の公共財

企業は、その経営者や従業員のためだけに存在するのでしょうか？否

弊社の社是は、創業以来変わらず「情熱と技術をもって社会に貢献します」です。それは、自分たちが暮らす地域、社会、世界を自らの行動と技術でより良くしたいという思いからです。

世界には100年企業が約80,000社あり、そのうち日本は33,000社、約40%を占めています。他国からの侵略や属国となることなく、脈々と引き継いできた日本独自の文化があり、そこには他を思いやる心と公の精神が根付いています。

そしてその100年企業の多くが中小企業です。成功者(商人)が橋をかけて町を作り続けてきた大阪のように、地域に貢献しながらコミュニティを作り、自企業を発展させてきたのです。

弊社は1999年6月に創業し、今年で25年目となります。四半世紀という時を経て、私たちがこの地で為すべきことはなんであろうかと、今、改めて自身に問いかけているところでございます。

無我夢中で地域のIT化、インターネットの利用を促進しようと走り回った立ち上げ期の5年。お客様にも恵まれアプリケーション開発やネットワークの設計、サーバの設定や保守業務などで小さな実績をコツコツと作り上げてきたその後の10年。

そしてここ最近の10年は、自然災害やコロナ禍に翻弄されつつも、世の役に立つ自社ブランドの製品を作りそれを広めていこうと努めてまいりました。



(会社のWebサイト)

さらに、まだまだ本当の橋をかけるだけの財力はないのですが、さまざまな架け橋としての活動もさせていただいております。

一つ目は、横手市と台湾の架け橋です。

台湾の大同大学と横手市が国際的産学官連携協定を締結し10年となりました。地域における国際交流の促進や、台湾への横手市のPR、日台双方の人材育成に携わるなどをしております。

二つ目は、IT事業者と地域企業の架け橋です。

「横手商工会議所ITエースをねらえプロジェクト」の実行委員長として12年間、以下の二つの目的のもと毎年セミナーやワークショップ等を開催しております。

- 1 次世代のITを担う人材を見つけ、地域のIT化を促進するためのリーダーとして育成すること
- 2 地域のIT人材の交流を促進し、個々の人材の伝える力・引き出す力・見つける力を伸ばすこと

このような活動は会社にとって、直接の売り上げには繋がらないばかりか、持ち出しで行うことが多くなります。しかし、それ以上に得るものが多かったと思います。成功も失敗もありましたが、社員と一緒にお金では買えない様々な経験をさせていただきました。そして一人では出来ないことでも、その目的に共感してくださった、第一線で活躍している仲間たちが手を差し伸べ、プロジェクトの実現に向けて伴走してくださいました。

仲間たちへのこれまでの感謝の気持ちと共に、我々もこのご恩送りができるよう、地域に必要とされ、貢献できる企業になれるよう、これからも精進して参ります。



(台湾の大同大学にて夏のインターンシップ学生と)



（「ITエースをねえプロジェクト」のWebページ）

■SDGsとDXそしてGXのために

さて、この25年間の日本に目を向けてみると、人口は右肩上がりから一気に下方へ。皆様ご存知の通り、2008年をピークに人口減、そして秋田県も横手市も超高齢化社会となっております。横手市で見ると、2022年の出生数は343人。2000年には789人だったので、半数以下の43%です。また、高齢化率で見ると全国平均が約29%に対し、横手市は約39%。さらに25年後には横手市の高齢化率は50%を超えると予測されています。その時にはもちろん私も高齢者の一員になっています。だからこそ、自分たちが豊かに楽しく暮らせる未来をイメージし、持続可能（SDGs）な地域のために必要な変革（DX・GX）をしていかななくてはならないと考えます。

人間は、心理的ホメオスタシス（恒常性）を望む生き物であるそうです。つまり、変化を嫌い同じ温度、同じ環境を快適と感じるのだそうです。

私たちが生きるこの秋田県は四季折々の変化に富み、気温差も大きく、ゆえに環境の変化への耐性は自然と身についております。当たり前のことと意識はしていないと思うのですが、雪が吹き荒ぶなか登下校し鍛えられた人材が地域のほぼすべての会社にいるのです。彼らは、我慢強く厳しい環境に身を置かなくてすむように、より良い物を作ろうと努力し続けることができます。それゆえに、古き良き伝統文化や伝統技術、素晴らしい工芸品の数々が受け継がれてきたのでしょう。

しかし一方で、環境変化の厳しさを知っているだけに、自らが今の快適さを捨てて、新たなことへチャレンジすることは苦手なようにも感じます。

弊社もまた秋田の会社らしく、素直で我慢強い社員が多くおります。

私が彼らとともにできることは、小さなチャレンジを続けること、変化による成功体験を積み上げること、そして変革を恐れず挑戦する気持ちを互いに育てることです。



ルート、スポットの
両方に対応!!



住宅地図などの
PDFを活用可能



コンテナ・BOXの
在庫管理が可能



クライアントフリー
社員が増えても
費用はそのまま!



他社販売管理製品ともAPIで
マスタの連携が可能!! (オプション)

産廃・金属リサイクル業界向け
配車管理システム



配車管理
EcoADP
エコエーエスDP

(産廃・リサイクル業者向け配車管理システム「ecoA DP」)



(自治体向け施設予約システム「eRes」)

弊社のミッションは「持続可能な地域未来のために I T や I o T、A I などのテクノロジーを活用し必要とする企業へ提供する」ことです。

そして人口減少、超高齢化社会においては、会社という小さな枠組みにとらわれることなく、well-beingな社会に貢献することが大切だと考えます。

「和を以て貴し」古より日本に根付く考え方の一つです。

私の解釈の一つは、同業者とも他業者とも互いの良きところ、本物同士をコラボレーションすることです。常に謙虚な心で相手の良きところを見出し、弊社の良きところを知っていただけるように努めていきたいと思っています。

新しい繋がりを少しずつ、新しい挑戦を少しずつ、その継続が変革へとつながり持続可能な地域未来に貢献できると信じて。



会 社 概 要

- | | | |
|----|---------|---|
| 1 | 会 社 名 | 株式会社デジタル・ウント・メア |
| 2 | 代 表 者 | 代表取締役会長 戸田 和彦
代表取締役社長 岩根 えり子 |
| 3 | 所 在 地 | 【本社】
〒013-0028 横手市朝倉町6-20
【横手事業所】
〒013-0064 横手市赤坂字館ノ下80-1
ベッチモントyokote 2F |
| 4 | 電 話 番 号 | 【横手事業所】 0182-33-5060 (FAX兼用) |
| 5 | U R L | https://www.und-meer.com |
| 6 | 創 業 | 1999 (平成11) 年6月 |
| 7 | 設 立 | 2000 (平成12) 年2月 |
| 8 | 資 本 金 | 3,000万円 |
| 9 | 売 上 高 | 206百万円 (2023年6月期) |
| 10 | 従 業 員 数 | 19名 (2024年5月現在) |
| 11 | 事 業 内 容 | ソフトウェア・アプリケーション受託開発業務
ネットワーク構築・保守業務
パッケージシステムの企画・構築・販売業務 |
| 12 | 社 是 | 私たちは情熱と技術をもって社会に貢献します。 |